

■【トピックス】

酷暑！



本当に今年の夏は暑いですね！猛暑日が続いて、全国で熱中症が多発しています。ただ、この酷暑の中で売上を伸ばしている企業もありますね。エアコンは、この暑さの中では、今や生死にかかわる必需品になりました。

ビールも売上を伸ばしています。だれでも、これだけ暑いと喉を潤したくなりますね。酷暑の陰に需要ありで、それに乗った企業の売上が伸びているようですが、いつまで続くのでしょうか？

■【ビジネス・アイ】

サービス残業

社長 「この不景気に、また若いのが一人退職したよ。転職先の会社は、うちより少しは大きいみたいだけど中小企業なんだけどね」

花野 「そうですか。彼には重要な仕事を任せていたんでしたよね」

社長 「そうなんだよ。営業としてようやく使えるようになったんで重要な商談を任せていたんだけどね。商談の方はなんとかあったんだけどね」

花野 「退職の理由は、何だったんですか？」

社長 「どうも残業手当が少ないということなんだ。その代わりに営業手当を支給していたんだけどね」

花野 「営業手当は、残業何時間分に相当する金額だったんですか？」

社長 「一応20時間相当というように計算していたんだけど、だいたいこれを超えていたかもね。でも出先での時間は管理できないし、多いときも少ないときもあってこれまで問題なかったよ」

花野 「そうですか。でも20時間を超える分は、サービス残業になっていますね。その分はキッチンと残業手当を支払わないとマズイですよ」

社長 「そうは言ってもうちのような中小企業じゃ厳しいね」

花野 「最近では、退職した後にサービス残業代を請求されるケースが増えていますよ。場合によっては会社の経営が傾くケースもあります」

社長 「それじゃ人件費が増えても残業を見直すことにするよ」

■【今月のキーワード】

サービス残業

日本マクドナルドのみなし管理職訴訟問題以降、企業のサービス残業代問題が厳しく摘発されるようになりました。

最近では、峠を越えた過払請求問題から弁護士事務所が、ターゲットを中小企業のサービス残業代請求ヘシフトしているようです。

サービス残業代請求は、これまでは問題にならなかった、うちは関係ないではすまされません。場合によっては、巨額の請求でサービス残業代倒産などという事態も起こりえます。

■【今月の1冊】

『社長、サービス残業代請求問題はこう解決しましょう！』

糀谷博和 大西美佳 田中義郎 著

東洋経済新報社 ¥1600

これまで中小企業で多く行われたサービス残業ですが、退職した従業員から弁護士など通じた訴訟を提起されることが増えてきました。

この本には、最近のサービス残業代請求問題の実態と対策が書かれています。サービス残業問題で会社を潰さないためにも、経営者であれば一度は目を通して対策を講じるべきでしょう。



■【編集後記】

盆のお休みは、恒例のダイビングで石垣島に行ってきました。石垣島はいつも通りの暑さで酷暑ということありませんでした。

ただ、珊瑚はオニヒトデの被害が深刻で、陸はダイゴの木が害虫にやられ壊滅的でした。

『NEWS LETTER』 vol. 42 (毎月1日発行)

●定価：2,400円/年 ●発行日：2010.9.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL052-205-6361 FAX052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>